

【徒然草】

【】(吉田と申す馬乗の)

次の文章を読んで、後の問いに答えよ。

吉田と申す馬乗の申しはべりしは、「馬ごとにはきものなり、人の力争ふべからずと知るべし。乗るべき馬をばまじよくみて、強き所弱き所を知るべし。次に轡、鞍の具に 危ふき事やあると見て心にかかる事あらば、その馬を馳すべからず。この用意を忘れざるを馬乗とは申すなり。これ秘蔵の事なり。」と申しき。

(徒然草)

問一 「危ふき事やある」の口語訳として、最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、記号で答えよ。

ア 危険なことがありはしないか

イ 危険があるにちがいない

ウ 危険なめにあうのはさげたい

エ 危険な状態になりそうだ

問二 筆者は、「吉田と申す馬乗」の言葉の、どのよつな点に共感したのか。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、記号で答えよ。

ア 名人には名人なりのえりこみがあるという点

イ 専門家ほどその道に対して慎重であるという点

ウ 名人でもときには迷いをもつものであるという点

エ 専門家は人の意見を素直に取り入れるという点

問三 右の文章で言おうとしている趣旨に最も近い「ことわざ」を、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 雨降って地かたまる
イ 火のない所に煙は立たぬ
ウ 石橋をたたいて渡る
エ 上手の手から水がもれる

(大分)

「解答」

問一 ア

問二 イ

問三 ウ